

## Ⅱ. 泉区の将来の姿

### 1. まちづくりの基本理念

豊かな水と緑を大切にした  
誰もが安心して快適に住み続けられるまちづくり

泉区では、平成6年（1994年）に策定した「ゆめはま 2010 プラン泉区計画」及び平成17年（2005年）に策定した泉区プランにおいて、区の将来像を「やすらぎとうるおいあふれる田園文化都市」と定め、まちづくりを進めてきました。

今後も、水と緑が豊かな泉区の特徴を活かすまちづくりを継承しながら、少子高齢化の進行を踏まえ、誰もが安心して快適に住み続けられるまちづくりを重点とした基本理念を掲げるとともに、次のとおり三つの「まちづくりの目標」を設定します。

### 2. まちづくりの目標

#### （1）「ゆとりと豊かさのある 人にやさしいまち」

和泉川や阿久和川などの豊かな水や、樹林地や農地などの緑に囲まれた環境を、次世代に継承していきます。また、子育て環境が充実した良好な住環境を整備するとともに、環境負荷の少ない持続可能なまちづくりを進めます。更に、区民の様々な活動が充実し、世代間の交流が盛んな、「ゆとりと豊かさのある 人にやさしいまち」を目指します。

#### （2）「便利で快適に暮らせるまち」

区民の暮らしを支える交通ネットワークの形成を進めます。また、高齢者・障害者をはじめ、誰もが安全に安心して移動できる道路空間を形成するため、バリアフリー対策や交通安全対策を進めます。更に、身近な場所において日常生活に必要な買物・サービス機能を維持するとともに、鉄道駅周辺に商業施設などの様々な機能が集積した拠点的形成し、「便利で快適に暮らせるまち」を目指します。

#### （3）「安全に安心して暮らせるまち」

地震や大雨などの災害による被害を最小限に抑える都市基盤の整備を進めます。また、一人ひとりの防災・防犯意識の向上とともに、互いに協力し合える地域コミュニティの醸成を図ります。更に、地域における防災・防犯への取組を進めることにより、地域の防災力の向上や犯罪抑制を図り、「安全に安心して暮らせるまち」を目指します。

### 3. 将来都市構造

#### (1) 生活拠点

鉄道駅周辺を生活拠点として、地域特性に応じた機能の集積を図ります。

いずみ中央駅の周辺では行政サービスなどの機能の集積を図り、立場駅、ゆめが丘駅、下飯田駅の周辺では大型店舗などの広域的な機能の集積を図ります。また、緑園都市駅、弥生台駅、いずみ野駅、踊場駅、中田駅の周辺では、区民が日常的に利用する買物・サービス機能の集積を図ります。

#### (2) 交通ネットワーク

2路線の鉄道と縦横の幹線道路を軸として区外との広域的な交通ネットワークを形成します。また、区内に9つある鉄道駅と各地域を幹線道路や主要な地域道路で結び、駅までのアクセスを確保するとともに、バス路線の維持・充実により、区民の日常的な移動手段の確保を図ります。

##### 【鉄道】

区内の鉄道ネットワークは、相鉄いずみ野線と市営地下鉄ブルーラインで構成されています。これらの鉄道は区内の南北・東西方向を結ぶとともに、横浜都心や主要な生活拠点である戸塚、二俣川・鶴ヶ峰と、湘南台方面へのアクセスを確保しています。

更に、相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線の整備が行われており、新横浜都心及び東京都心部方面とのアクセス向上が図られます。

##### 【道路】

横浜伊勢原線、中田さちが丘線、環状4号線、権太坂和泉線、鴨居上飯田線などの幹線道路により主要な道路ネットワークを構成し、区内移動の円滑化や区外とのアクセスの確保を図るとともに、主要な地域道路により幹線道路と各地域を結びます。

更に、区の中心部を南北に結ぶ環状3号線や、ゆめが丘駅、下飯田駅周辺などの新たな拠点と周辺地域を結ぶ桂町戸塚遠藤線の整備を進めることにより、道路ネットワークの強化を図ります。

### (3) 水と緑の拠点

横浜市緑の10大拠点として位置付けられている上飯田・和泉・中田周辺地区及び下和泉・東俣野・深谷周辺地区を中心に、河川・樹林地・農地などが一体となった泉区らしい水と緑の環境を保全するとともに、区民が水と緑に親しみ、ふれあう場として活用を図ります。

#### 【河川】

境川、和泉川、阿久和川などにおいて、河川沿いの樹林地や農地などを保全し、河川を軸としたまとまりのある水と緑の空間を形成します。

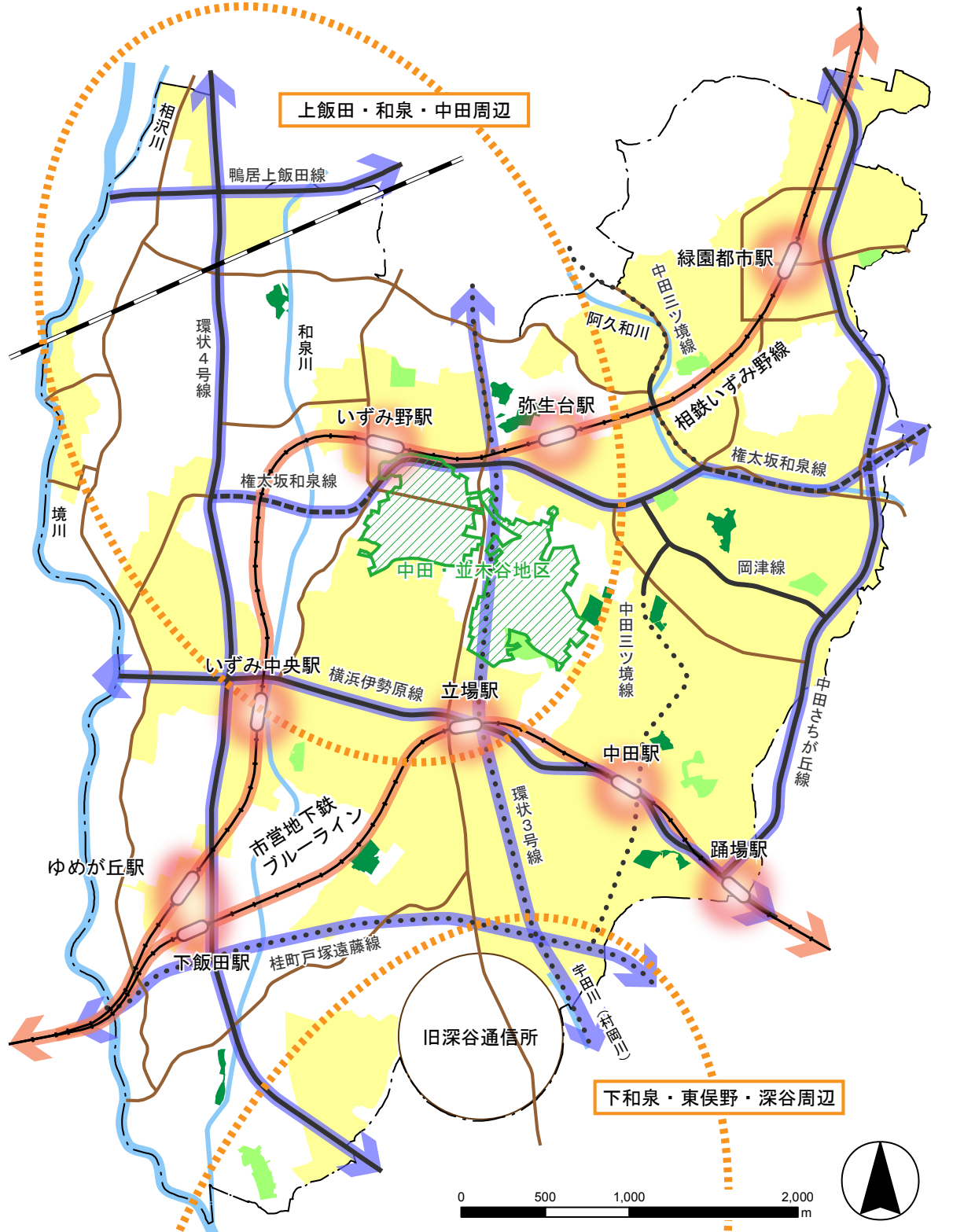
#### 【農】

中田・並木谷地区の農業専用地区などを中心に農地や農景観を維持・保全します。あわせて、区内の農地を活用し、区民が身近に農にふれあう場づくりを進めます。

#### 【緑】

緑地保全制度により樹林地の保全を進めるとともに、市民の森や公園などを身近な緑の拠点として活用します。住宅地の緑や農地などについては、良好な都市環境の形成に資する貴重なオープンスペースとして、区民とともに保全・活用します。また、旧深谷通信所については、緑の空間としての活用を基本に検討します。

# 将来都市構造図



- |  |             |  |       |  |                               |  |  |
|--|-------------|--|-------|--|-------------------------------|--|--|
|  | 主要な道路ネットワーク |  | 生活拠点  |  | 緑の拠点<br>公園<br>(地区公園、<br>近隣公園) |  | 河川沿いのまとまりのある<br>農地・樹林地の拠点<br>(横浜市緑の10大拠点の一部) |
|  | 鉄道ネットワーク    |  | 農の拠点  |  | 特別緑地保全地区、<br>市民の森、<br>ふれあいの樹林 |  | 河川   |
|  | 幹線道路 (既存)   |  | 市街化区域 |  |                               |  |  |
|  | 幹線道路 (整備予定) |  |       |  |                               |  |  |
|  | 幹線道路 (計画等)  |  |       |  |                               |  |  |
|  | 主要な地域道路     |  |       |  |                               |  |  |